

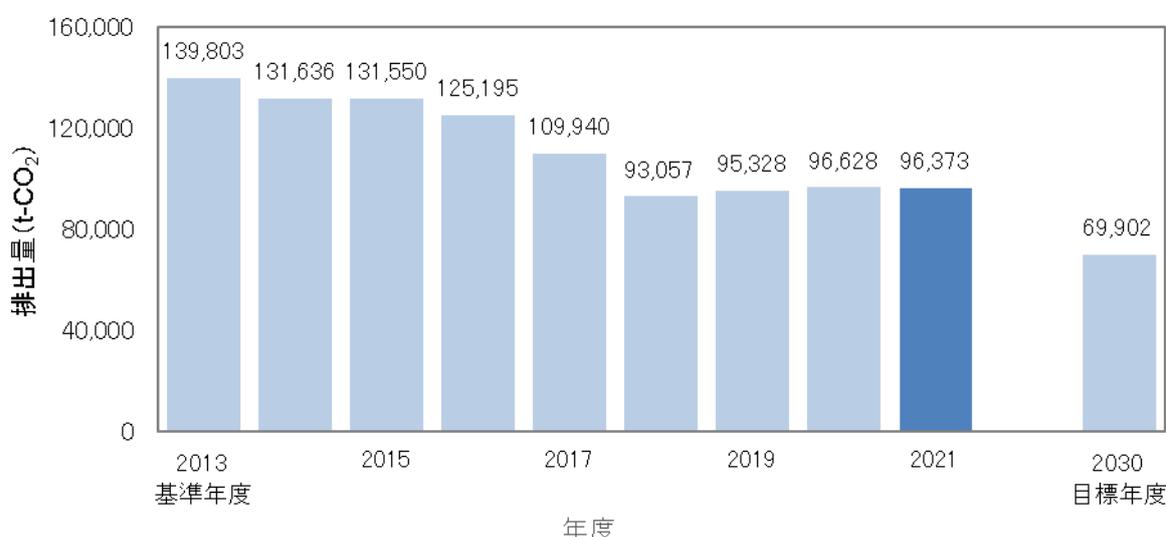
2021年度の京都府の事務事業における温室効果ガス排出量について

2021年度の京都府の事務事業における温室効果ガス排出量は96,373t-CO₂となり、前年度(2020年度)からは0.3%の減少、「府庁の省エネ・創エネ実行プラン(第2期)」(2021年12月策定)の基準年度(2013年度)からは31.1%の削減となりました。

猛暑・厳冬等の増加要因もみられましたが、省エネ設備の導入等により、全体としては前年度比0.3%減となりました。

なお、排出量は「地方公共団体実行計画(事務事業編) 策定・実施マニュアル(算定手法編)(令和3年3月環境省)」に沿って算定しています。

1 排出量の推移

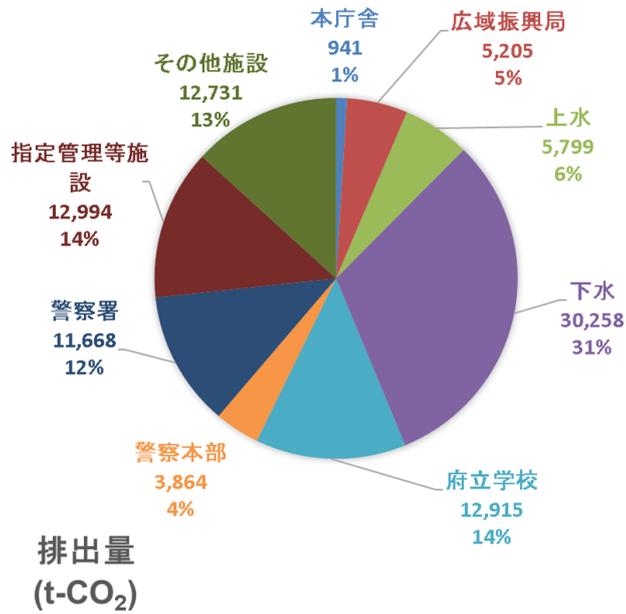


年度	2013 基準年度	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2030 目標年度
排出量 (t-CO ₂)	139,803	131,636	131,550	125,195	109,940	93,057	95,328	96,628	96,373	69,902 以下
前年度比 (%)	-	▲ 5.8	▲ 0.1	▲ 4.8	▲ 12.2	▲ 15.4	2.4	1.4	▲ 0.3	
2013年度比 (%)	-	▲ 5.8	▲ 5.9	▲ 10.4	▲ 21.4	▲ 33.4	▲ 31.8	▲ 30.9	▲ 31.1	▲ 50 以上
電力排出係数 ^{※1} (kg-CO ₂ /kWh)	0.522	0.531	0.509	0.509	0.435	0.352	0.360	0.381	0.380	0.250 ^{※2}
前年度比 (%)	-	1.7	▲ 4.1	0.0	▲ 14.5	▲ 19.1	2.3	5.9	▲ 0.2	-

※1 「電力排出係数」は、2013～2018年度は各年度の関西電力の基礎排出係数を、2019～2021年度は各電気事業者の基礎排出係数の平均値(各府有施設の電力使用量による重み付け平均値)を記載している(各年度の電気使用によるCO₂排出量は、当該排出係数を使用して算定)。

※2 「2030年度におけるエネルギー需給の見通し」(資源エネルギー庁)に基づく2030年度の全電源平均の電力排出係数。

2 施設種別排出量

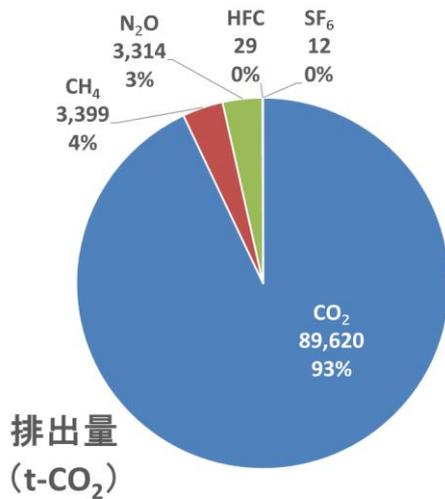


施設種別	2020年度		2021年度					主な増減要因	
	排出量 (t-CO ₂)	電力排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	排出量 (t-CO ₂)	前年度比較		電力排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	前年度 増減率 (%)	増加要因	減少要因
				増減量 (t-CO ₂)	増減率 (%)				
本庁舎	2,887	0.461	941	▲ 1,946	▲ 67.4	0.067	▲ 85.5	・時差出勤の実施等による稼働時間増	・環境に配慮した電気調達による電力排出係数の減少
広域振興局	5,732	0.457	5,205	▲ 527	▲ 9.2	0.458	0.3	・時間外・休日勤務の増加 ・猛暑・厳冬による空調機器等の使用増	・定額電灯にかかる電力排出係数の減少
上水	4,430	0.364	5,799	1,368	30.9	0.449	23.3	・電力排出係数の増大 ・供給水量の増加	
下水	28,942	0.362	30,258	1,316	4.5	0.390	7.9	・電力排出係数の増大	・消化ガス発電の増設
府立学校	12,299	0.404	12,915	616	5.0	0.442	9.4	・電力排出係数の増大 ・換気しながらの冷暖房使用	
警察本部	4,696	0.362	3,864	▲ 832	▲ 17.7	0.299	▲ 17.4		・電力排出係数の減少 ・新庁舎移転に伴う施設統合
警察署	12,444	0.383	11,668	▲ 776	▲ 6.2	0.330	▲ 13.9	・猛暑・厳冬による空調機器等の使用増	・電力排出係数の減少
指定管理等施設	13,281	0.389	12,994	▲ 288	▲ 2.2	0.367	▲ 5.6	・時短営業・臨時休館等のコロナウイルス感染症の制限緩和	・電力排出係数の減少 ・省エネ設備の導入
その他施設	11,916	0.396	12,731	816	6.8	0.395	▲ 0.1	・猛暑・厳冬による空調機器等の使用増 ・施設の利用増加	
合計	96,628	0.381	96,373	▲ 255	▲ 0.3	0.380	▲ 0.2		

※「指定管理等施設」：京都府府民総合交流プラザ、府立けいはんなホール、けいはんなオープンイノベーションセンター、京都府立京都学・歴史彩館、山城総合運動公園など。

※「その他施設」：洛南病院、京都府立植物園、京都府警察学校、中小企業技術センター本所、水産事務所など。

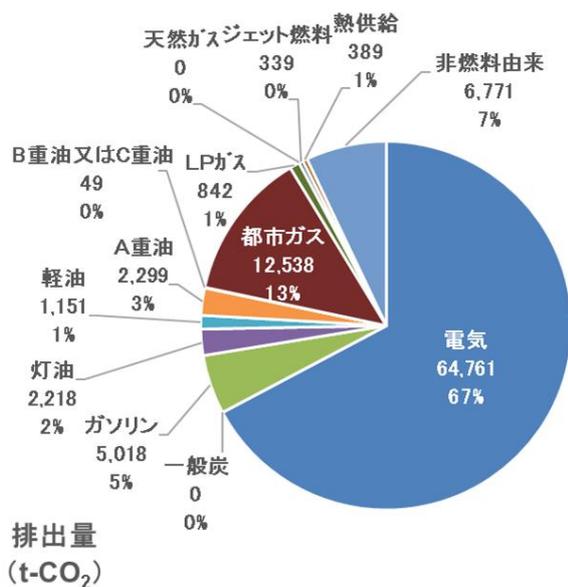
3 ガス種別排出量



ガス種別	2020年度	2021年度	
	排出量 (t-CO ₂)	排出量 (t-CO ₂)	前年度比較 増減量 (t-CO ₂) 増減率 (%)
二酸化炭素(CO ₂)	90,151	89,620	▲ 532 ▲ 0.6
メタン(CH ₄)	3,302	3,399	96 2.9
一酸化二窒素(N ₂ O)	3,131	3,314	184 5.9
ハイドロフルオロカーボンのうち政令で定めるもの(HFC)	25	29	4 17.0
六ふつ化硫黄(SF ₆)	19	12	▲ 7 ▲ 36.3
合計	96,628	96,373	▲ 255 ▲ 0.3

※CO₂以外の各ガスの排出量は、地球温暖化係数を用いたCO₂換算値。地球温暖化係数(GWP: Global Warming Potential)とは、CO₂を1(基準)として、各ガスの温室効果の強さを数値化したもの(CH₄: 25、N₂O: 298、HFC-134 (HFCの一種): 1,100、HFC-134a (HFCの一種): 1,430、HFC-143a (HFCの一種): 4,470、SF₆: 22,800)。

4 燃料別排出量



燃料別	2020年度	2021年度	
	排出量 (t-CO ₂)	排出量 (t-CO ₂)	前年度比較 増減量 (t-CO ₂) 増減率 (%)
電気	64,854	64,761	▲ 93 ▲ 0.1
一般炭	-	0	- -
ガソリン	5,202	5,018	▲ 184 ▲ 3.5
灯油	2,096	2,218	121 5.8
軽油	1,603	1,151	▲ 453 ▲ 28.2
A重油	3,132	2,299	▲ 833 ▲ 26.6
B重油又はC重油	-	49	- -
都市ガス	12,428	12,538	110 0.9
LPガス	576	842	265 46.0
天然ガス	0	0	▲ 0 ▲ 100.0
ジェット燃料	260	339	78 30.2
熱供給	-	389	- -
非燃料由来	6,477	6,771	295 4.6
合計	96,628	96,373	▲ 255 ▲ 0.3

参考 温室効果ガス排出量の削減に向けた主な取組 (2021年度)

省エネの徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・新築、設備更新での省エネ設備の導入 (心身障害者福祉センター等) ・道路照明、信号機のLED化 ・「京都府環境マネジメントシステム」に基づくエコオフィス活動 (冷暖房の適切な温度設定、こまめな消灯、ウェブ会議の推進等)
再エネ電気の調達	<ul style="list-style-type: none"> ・「京都府電力の調達に係る環境配慮契約方針」に基づく電力調達 ・本庁舎電力使用分の非化石証書を購入 (約 2,117t-CO₂*の削減効果に相当) <p>※温対法に基づく温室効果ガス算定・報告・公表制度の算定方法により換算</p>